



## 2013年度 最終成果報告会 同志社ローム記念館大賞発表会

2014年3月8日(土)、2013年度(第10期)プロジェクトの最終成果報告会が開催された。過去2年間、大賞を受賞するプロジェクトがなかったこともあり、今年こそ、との期待が高まる中、6チームとスタジオZeroが1年間の活動と成果について報告しあった。

本年度の報告会では、各プロジェクト10分間のプレゼンテーションの後、各チームのブースが設置された2階のオープンスペース会場を移し、審査員による質問タイムでのやりとりを総合して評価、賞の選定が行われた。

選考では、社会とのつながりや着実な活動の様子などから、他チームとの差をつけて「同志社電子書籍プロジェクト」が大賞に選ばれた。また、今回は優秀賞の授賞チームはなかったものの、本年度より発足した「スタジオZero」が、初年度ながらプロジェクトの成功をサポートするチームとしての役割を果たすべく努力していることが評価され、次年度以降のさらなる活躍を期待して「特別奨励賞」が授与されることとなった。

夕方からは、華やかに装飾が施された会場で授賞プロジェクトの発表、授賞式と交流会が行われ、記念すべき第10期のプロジェクトを締めくくるイベントも盛会のうちに幕を下ろした。



同志社ローム記念館大賞

トロフィー・賞状・副賞(賞金10万円・記念品)

### 同志社電子書籍プロジェクト

●プロジェクトリーダー  
木本 充彦 (同志社大学 理工学部)

●プロジェクト責任者  
下原 勝憲 (同志社大学 理工学部教授)

●メンバー数 7名

<授賞理由>

何度も話し合いを重ね、2つの小学校とのコラボレーションを実現し、実際に運用しながら改善を重ねてきました。

また、新聞等メディアでとりあげられるなど、その価値が社会的にも認められるものとして完成されています。小学校、保護者、児童間の双方向のコミュニケーションと「つながり」を創りだすためにICTを積極的に活用し、「相互理解」と「共感」に支えられた学びのコミュニティ形成への第一歩をつくったことを高く評価し、同志社ローム記念館大賞を贈ります。







## 特別奨励賞

賞状・記念品

### スタジオZero

●プロジェクトリーダー  
飯野 慎吾 (同志社大学 理工学部)

●メンバー数 30名

<授賞理由>

プロジェクト間にとどまらず、委員会と各プロジェクト間の潤滑油としての役割を果たし、各プロジェクトが一定の成果を上げた本年度のプロジェクト運営に貢献されました。

また、オープン10周年記念イベントでの活躍、毎回のイベントでの反省点を次に活かして実行されていた点も評価できます。

次年度以降のますます活発な活動の展開を期待し、特別奨励賞を贈ります。



## 外部審査員特別賞

賞状・記念品

### 歌留多ラボ

●プロジェクトリーダー  
穂満 建等 (同志社大学 文化情報学部)

●プロジェクト責任者  
福田 智子 (同志社大学 文化情報学部准教授)

●メンバー数 10名

<授賞理由>

- 日本人として知っておくべきことを「ITを使って身近に知る」機会を作るといのはとても良いミッションだと思います。ITを活用したプロジェクトを求められる中でテーマとして「古典」を選択した発想、また「伊勢物語」を選択したこともおもしろく、メンバーの「古典」に対する愛情が感じられました。
- プレゼンテーションも一番良く、概念だけでなく、具体的な活動内容と成果物がしっかりと伝えられていました。
- コンテンツの絵が上手く、魅力的でした。
- メンバーの一体感があり、企業に足を運んで協力を仰いだり、古典について勉強したり、日々活発に活動していたようすも伺えました。



## ベストプレゼンテーション賞

賞状・記念品

### 歌留多ラボ

最終成果報告会に参加したメンバーの相互評価による賞。最もすばらしいプレゼンテーションを行ったプロジェクトに贈られました。



## Event Report

# イベント報告

2014年2月～  
2014年3月

### ● イベント

同志社女子大学 情報メディア学科 進級制作展「I'm IM」

2月19日(水)～24日(月)

恒例となっている3年生による作品展。

映像やインスタレーションなど、さまざまなメディアを活用した個性的な作品が並んだ。

主催：同志社女子大学 学芸学部 情報メディア学科



第8回全国大学まちづくり政策フォーラム in 京田辺

3月2日(日)～4日(火)

各地から計15チームが集まり、京田辺市をフィールドに調査・企画し、政策提言を行った。

主催：「全国大学まちづくり政策フォーラムin京田辺」実行委員会

共催：京田辺市、同志社大学



2013年度 同志社ローム記念館プロジェクト「最終成果報告会」

3月8日(土)

(詳細は、P.7～9参照)

主催：同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会



### ● 展示

フォーミュラカーの展示

7月1日(月)～(継続)

主催：同志社大学 機械研究会

Pick Up!

### こんなときは劇場空間!

- サークルのプロモーションビデオを流したい!
- マイクを使って試合の告知をしたい!
- 日頃の練習の成果をステージで発表したい!
- 大きなスクリーンを使ってイベントをやりたい!



まずは、同志社ローム記念館事務室へ空き状況をおたずねください。

(学生主催イベントの場合は、学生支援課への届出が必要です。)

映像放映やイベント利用に関する手続き書類は、同志社ローム記念館Webサイトからダウンロードできます。